

マリナーライフ

[Vol. 274]

【令和6年度「ふるさとの自然」作品コンクール】

海辺の生き物絵画 入賞者決定！



今年度の優秀作品

応募総数893点！

江田島市周辺にすむ海辺の生き物の絵画を募集した、「ふるさとの自然」作品コンクール。今年度は、893点の応募がありました。本当にありがとうございました。審査は、小学校低・中・高学年、中学校の4部門に分けて行い、応募作品の中から入賞作品80点（優秀20点、入選60点）を選定し、表彰させていただくことになりました。どの部門も年齢に応じた力作ばかりで、題材をしっかり観察して細部まで描きこんだ正確なデッサンと繊細な色使い。今にも動き出しそうな迫力満点な作品ばかりでした。

小学校 低学年の部

生き物が大胆に描かれているものがたくさんありました。観察をして、印象に残ったことを複数の色を組み合わせ描かれていたり、いろんな視点で生き物の特徴がよく表現されていたりしました。

小学校 中学年の部

色の濃淡をうまく使い、重なりや奥行が立体

的に表現されているものが多くみられました。観察したものを正確に描こうとする姿が、それぞれの絵から伝わってきました。

小学校 高学年の部

観察力と表現力が増し、細部の形態が丁寧に描かれていたり陰影をつけて立体感が表現されたりしていました。生き物の特徴をとらえつつ、全体の姿をバランスよく、絵具や色鉛筆で表現豊かに描かれているものが多く見られました。

中学校の部

生き物の特徴だけでなく質感まで伝わってくるほどの、高度な描写で精巧に表現されていました。生き物の細部にまで焦点を当て描く、高い集中力を感しました。

入賞作品は、今後、各種イベント会場やさとうみ科学館内での展示を行い、多くの方に見ていただく予定です。現在、入賞作品を掲載したカレンダーを製作中です。各小中学校や市内公共施設などに配布して掲示してもらう予定ですので、楽しみにしててください。

“電子黒板” & “デジタルサイネージ” を整備しました!

さとうみ科学館に「電子黒板」&「デジタルサイネージ」が整備されました。いずれも大新グループさんからの寄附を活用して購入したものです。下記のように活用していますので、来館の際にはみなさんもさがしてみてくださいね。

●電子黒板●

室内の観察会や研修会開催時の情報提示用ディスプレイ、Web会議時のモニターとして活用します。学校に導入している機種と同等のものなので、児童生徒来館時の授業や教職員の研修の場での電子黒板としても活用します。写真は、民泊受入家庭のスキルアップ研修の際に使用したときの様子です。



●デジタルサイネージ●

本館エントランス(玄関)のような省スペースでも柔軟に設置できるインフォメーションディスプレイとして導入しました。簡単操作でコンテンツ更新ができ、運用性が高いデジタルサイネージ用ソフトが搭載されているので、館の職員で静止画・動画を使って簡単に編集ができ、館のPR動画や各種案内など、複数の情報をタイムリーに来館者に提供できます。



“新しい命” がスタートする瞬間を観察!

「総合的な学習の時間」を中心に進められている「さとうみ学習」ですが、地域での実態や日常生活と結びついた学習となるように各教科の内容と組み合わせた展開も行われています。

先日、能美中学校の理科の授業で、ウニを用いた“発生実験”が行われました。生徒たちは、自分たちでウニから採卵・採精を行い、顕微鏡を使って“受精の瞬間＝新しい命がスタートする瞬間”を観察することができました。“生徒たちに本物を見せるぞ!”という先生たちの思いは、生徒たちの興味関心を高め、ずっと記憶に残る授業となったはずです。

実物のウニを使った発生実験は、高校では行うことがあっても、中学校ではなかなかありません。しかし、江田島市の理科の先生たちは、以前から授業(動物の有性生殖)で生徒たちに観察させています。この時期に生殖期を迎える「バフンウニ」を採集するために早朝の海にでかけ、持ち帰ったウニを使って予備実験を行い、本番の授業に備えています。理科部会の中で情報を共有し、ベテランの先生から若い先生たちへと実験や観察のノウハウが受け継がれていくことも、地域の資源を活用した学習が継続して行われている大切なポイントなのです。



<顕微鏡で観察中の生徒たち>



<事前準備中の理科部会の先生たち>

◆ 第200回自然観察会（特別研修会）のお知らせ ◆



江田島近海で獲れた水産物がどこへ行くのか知っていますか？江田島は漁業が盛んですが、江田島産水産物を市内で見る機会は少ないのが現状です。今回、卸売市場全面協力のもと、一般の見学ではできない体験や入れない場所の見学をします。早朝の「競り（せり）」では開始の鐘を鳴らす体験ができ、仲卸のお店では広島近海や全国各地からやってきた水産物を間近で見ることができます。また、フレンチシェフによる江田島産シラス料理の試食があります。早起きをして瀬戸内の水産物を堪能しましょう！！

日時：令和7年3月28日（金）AM2：00～9：30

場所：広島市中央卸売市場
広島市西区草津港1丁目8-1

集合：さとうみ科学館 AM2：00 集合
バスでさとうみ科学館⇄市場間を送迎します。

参加費：無料

定員：先着25名程度（保護者含む）

申込：事前予約制 3月19日（水）16：00までに
事務局へお申し込みください。

当日の予定

2：00 さとうみ科学館 集合	5：50 市場についてのお話
出発	7：00 水産物の試食
3：30 中央卸売市場到着	8：00 見学終了
3：50 仲卸見学	中央卸売市場出発
4：15 競り見学	9：30 さとうみ科学館 到着
5：00 水産棟施設見学	解散

（交通事情により、日程は多少変更になる場合があります）



広島市中央卸売市場



X



Instagram

広島市中央卸売市場について

広島市中央卸売市場（中央市場・東部市場・食肉市場）は、市民生活に欠かせない野菜・果物・水産物・食肉などの生鮮食料品や花を、小売店やスーパーなどに卸す場所です。

このうち中央市場では、2032年度までの完成を目指して、新市場整備に取り組んでいます。新市場には「にぎわい施設」として、世界遺産の宮島や広島湾の島々を展望できるスペースや市場で取り扱う生鮮食料品などを活用した飲食店なども整備予定です。

◆ イベント情報 ◆

第4回 古鷹ふれあい祭り 「ものづくりコーナー」 出展

3月9日(日)に開催される「第4回 古鷹ふれあい祭り」の特設コーナーとして、さとうみ科学館の出前展示を行います。「科学おもちゃのものづくり」コーナーと、令和6年度「ふるさとの自然」作品コンクールで入賞した作品を「絵はがき」サイズに印刷した「海辺の生き物イラスト展示」コーナーを予定しています。ぜひお越しください!!

「ふわふわ立体タコ」



歩くだけで簡単に浮かび上がる魚型の「立体たこ」だよ!

日 時：令和7年3月9日(日)
9:30~14:30
開催場所：江田島市民センター別館
1階 娯楽室

※ 定員は特にありませんが、材料が無くなり次第、終了とします。

潮見表 3月の観察に適した日時 (干潮時刻と潮位)

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
時分	4:31	5:08	5:45	6:23	7:01	7:44	8:46	11:36	13:23	0:57	1:57	2:40	3:17	3:49	4:19	
cm	-22	-11	13	48	90	135	175	190	165	74	52	34	23	20	24	
時分	16:54	17:29	18:05	18:42	19:22	20:09	21:20	23:24		14:07	14:40	15:11	15:40	16:08	16:35	
cm	27	13	8	13	28	52	79	89		135	108	86	68	54	43	
1月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
時分	4:47	5:14	5:41	6:10	6:40	7:15	8:02	9:41	12:38	13:27	1:14	2:06	2:49	3:29	4:08	4:47
cm	35	49	68	91	116	143	170	191	175	145	67	37	15	5	8	25
時分	17:01	17:27	17:53	18:20	18:49	19:24	20:13	21:45	23:58		14:04	14:39	15:14	15:50	16:26	17:02
cm	35	31	32	39	51	69	90	106	96		112	78	46	18	-3	-14

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

令和7年 潮汐表(海上保安庁)から

潮位30cm未満(白抜きの文字)が調査に適しています。

事務局だより

●活動報告・・・1月26日(日)、ひろしま環境ミーティング2024(似島歓迎交流センター)の分科会として行われた「ひろしまの自然史博物館のこれから」に参加してきました。

出張博物館や企画者・参加者によるディスカッションなどを通じて、ひろしまの自然史をどのように残していくかについて活発な意見交換が行われ、ネットワーク型の連携とコミュニティづくりの重要性について共有することができました。



●臨時休館のお知らせ・・・3月28日(金)は第200回特別研修会の実施にともない、終日休館となります。

●休日開館日(3月)のお知らせ・・・3月も毎週土曜日を開館。9:30-17:00(入館は16:30まで)です。詳しくは事務局まで。

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

さとうみ科学館 Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

TEL:(0823)57-2613

FAX:(0823)40-3100

メール:satoumimail@yahoo.co.jp

HP:『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館長：西原 直久

専門員：平山 良太

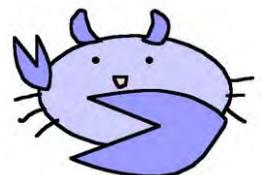
学芸職員：鎌崎 賢三

運営指導員：下中 茂樹

運営指導員：峯 哲士

支援員：木村 さつき

里海ナビゲーター：守本 怜矢



(友の会会員)

シニア 182名

ジュニア 141名

◆あとがき◆「ふるさとの自然」作品コンクールに応募された作品の題材となった生き物は、全部で160種類でした。魚類を描いた作品が最も多かったのですが、中にはプランクトンや海藻を描いた作品などもありました。それぞれ選んだ理由が気になります。(鎌崎)